



## 雪かきに見た地域の方々の思い…

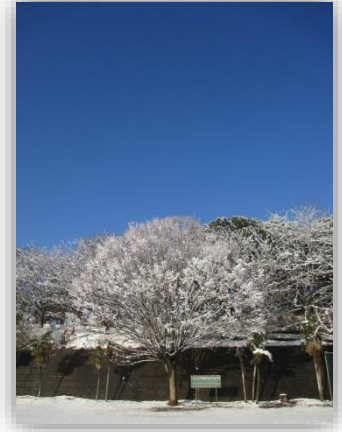
校長 中基 信夫

先日は思いがけない大雪で、早々に出勤はバスにすることにしました。特に朝の凍結は、年を重ねるごとに恐怖が増します。停留所から学校に向かう坂道は、とうていノーマルタイヤの車では上がれるはずがありません。

私が7時頃にバス停からこの坂を上り始めると、すでに地域の皆さんが黙々と雪かきをしていました。「おはようございます！」という挨拶をいつも以上に交わすこと数回。特に校門の<sup>きわ</sup>際のお家の方々は5時半ごろから始めているとのこと。頭が下がるばかりです。

私が坂を上り切った時には職員もすでに出勤していて、みんなで正門と南門の雪かきを終えるところでした。雪かきに慣れていない私ですが、職員の中には豪雪地帯出身の者もいて、手慣れた手つきで作業にあたっていました。「こんなの雪かきのうちに入りませんよ！」と言っては、てきぱきとシャベルを操っていました。

それにしても、鳳翔団地の方々の一致協力した除雪作業は見事なもので、自分たちの生活のためだけでなく、白井中の生徒が通るから…といった気遣いの思いがひしひしと伝わってきました。お陰様で、登校中は事故もなく、全員時間通りに教室で着席することができました。



1/23 の降雪